

東近江市



## ■活動内容

平成23年の夏に、おうみサンバ・パーカッション・ワークショップを有志で結成、ことろへムスロイド村、愛荘町体育館にて年3回のサンバ音楽を用いた交流会を開催しています。サンバ音楽の指導には大阪のパーカッショングループのヂスペルタドールさんをお招きして、楽器作り、サンバリズム&ダンスでの音楽交流、そしてお互いの食文化を楽しむ形で行っています。

私たちの合言葉は、言葉が通じなくてもサンバ音楽があれば大丈夫！ワークショップには毎回60名前後の参加者が集い、ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語が混じるなか、言葉や文化が違って、サンバ音楽があれば、心は一つになれることを実感することができています。

## ■団体名

おうみサンバ・パーカッション・ワークショップ

## ■参加者

ブラジル人学校の生徒・父兄さん、地域にお住まいの日本人

■活動拠点  
連絡先

会長：学校法人 司学館 司学館高等学校 校長 小梶猛  
事務局：東近江市下中野町637番地 NPO法人加築内  
おうみサンバ・パーカッション・ワークショップ 楠神渉  
TEL:0749-46-0608 E-Mail:karaku@sand.ocn.ne.jp

## ■活動のきっかけ・実現までの経緯

平成22年の夏、ドキュメンタリー映画監督の栗原奈名子さんが、コレジオ・サンタナ学園(ブラジル人学校)の生徒さんに、生のサンバ音楽に触れさせてあげたいとサンバ隊を招いてのサンバ・ワークショップを東近江市で開催。1回だけの企画でしたが、東近江市内に36か国もの外国人がお住まいであること、又ブラジル学校サンタ学園の生徒さんの半数が学費を払えずに運営に困られていること、そして日本人の友人を持たないサンタ学園の生徒さんが社会に出た時に、犯罪に巻き込まれてしまうことがあることなどを知ることができました。

そこで、当日集まった地元のメンバー4名で相談を行い、サンバ音楽を用いたワークショップを今後も継続開催して、子供たち同士が触れ合え、又サンタ学園さんの現状を知って頂く機会をつくることにしました。



## 利用者さんの声

・ブラジル音楽のサンバ、またシュハスコなどの食文化を知ることができました。言葉や文化が違って、同じ地域に住む仲間として、ともに考え行動できればと思います。

・サンバ・ワークショップでは、コレジオ・サンタナ学園の校長先生より、学びたくても学べない子どもたちがいること、又社会にでて正規職に就けず、雇用の調整弁となってしまうことがあるなど、現状の問題点等を知ることができました。

## 活動者の声

・言葉が通じなくてもサンバ音楽があれば大丈夫！を合言葉にワークショップを開催しています。子どもたちは順応性が高く、サンバ音楽を通して、易々と言葉、文化の壁を越えています。東近江市には36か国の方々お住まい、このような活動を通して、多文化が共生できる地域となればと思っています。

・市内外の様々なイベントでステージ発表の機会を頂きとてもうれしく感じています。京都サンカF.C京極スタジアムでの公式戦では、大舞台上でサンバ音楽&ダンスを披露することができました。子どもたちにとって、努力は報われることを体験することができ、大きな自信に繋がったのではと思います。

## ■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

活動を始めて8年目。地域の大凧祭り、二五八祭り、第九とのコラボ、特別養護老人ホームでの発表などにお誘いして頂くなど、活動の輪が広がり、外国人学校が置かれている現状なども地域の方々を知って頂くことができたのではないかと思います。又地域の企業様の協賛も得て、子どもたちが描いたお揃いのTシャツを着て活動が行えるようになりました。今後は地域でサンバ隊を結成し、パレードに参加するなど、より多くの方に参加して頂き、言葉や文化が違って、お互いを認め合える、多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。